

## 平成30年度採材現地検討会

日時：平成30年7月30日（月曜日）

場所：岩手南部森林管理署管内 西和賀町沢内大野 志賀来国有林1046林班は小班外（素材生産請負事業実行現場）

参加者：県、市町、製材・造材・検知関係事業者、森林組合、森林管理署等（22団体、総勢約90名）

（岩手南部森林管理署と合同開催）

### 主な実施内容

各森林管理署の立木及び素材の販売予定について

県内の木材市況及び動向について（岩手県森林組合連合会 工藤様）

採材に当たっての留意事項（東北森林管理局青森事務所）

採材方法の検討・実演

講評（東北森林管理局青森事務所）

平成30年度採材現地検討会は、関係機関や請負事業者などおよそ90名の参加者数となりました。

採材方法の検討では、生産請負事業者、県及び森林管理署から計5班を編制し、スギ4本と広葉樹2本から各班で2本ずつ選択しどのように採材するかを検討していただきました。それを基に実際に玉切りし、矢高を図るなど全体で検討を行いました。





採材指導1  
(東北森林管理局青森事務所)



検討結果により玉切り



採材指導2  
(東北森林管理局青森事務所)

**炎天下の中、活発な意見交換がされました。**

採材について各班で検討結果が異なり様々な考え方があることを感じるとともに、その中でも留意すべき点等をご指導いただくことにより全体での共通認識がされたように思います。

岩手県森連の工藤様には県内の木材市況及び動向のお話しや採材についてご指導いただきました。ありがとうございました。